

備前市 事務事業評価表

事務事業名	財政調整基金事業		コード	02-01-07-04
			担当課・係	保健課 保険医療係
			担当者	河井 健治
			電話	64-1819
事業実施期間				
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目(施策)	保険給付（国保）		

事業について	
目的 (何のために)	国民健康保険財政の健全な運営に資するため、財政調整基金を造成する。
対象 (誰・何を対象に)	備前市国民健康保険加入者
内容	基金に属する現金は、金融機関への預金その他最も確実かつ有利な方法で保管し、経済事情の著しい変動等による財源不足に備える。

事業の結果			
実施項目	回数など (単位)	回数など (単位)	回数など (単位)
年度末基金残高	544,375,420 円	544,643,045 円	
年度内積立額	90,620 円	267,625 円	

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等	直接事業費	間接補助金等
	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担	人件費	受益者負担
	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債	市債
合計	0	一般財源等	0	一般財源等	0	一般財源等	0	一般財源等

必要人員	0.00	人	0.00	人
結果指標名	基金増加額		基金増加額	
結果指標量	90,620		267,625	
単位	円		円	
対前年比	-		295.33%	
活動にかかるコスト	0	円		円
単位当たりコスト	0	円		円

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか			
成果指標名	被保険者一人当たり基金額	式又は説明	基金残高 / 被保険者数
	17年度	18年度	
成果指標量	33,301	33,428	
対前年比	-	100.38%	0.00%
到達目標値	35,000	到達目標年度	毎年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 関係法令等： 国民健康保険法	妥当性評価 <A~E> C
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	健全財政を担保するものであることから必要である。
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input checked="" type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E> C
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	安全かつ有利な方法として、金融機関への定期預金として運用している。また、複数の預金方法により財政調整機能を担保している。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E> C	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	課題認識
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	安定財政を維持するために、継続した積立を実施する必要がある。

平成19年度状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 国保財政安定のため、継続して適正な運用を行なっている。
----------	---	---	-----------------------------------

目標値	結果指標量	300,000	結果指標量
	成果指標量	35,000円	

総合評価	今後の医療制度改革による国保財政への影響額が未知数であることから、健全財政を維持するためにも継続した積立が必要である。	評価区分 <A~E> C
------	---	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	---	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
効率性	継続した基金の造成	平成19年度	保険財政の安定